

自己評価シート

バンブーキッズ保育園

1、園の教育目標

当学園では教育・保育理念として、『一人ひとりをみつめる保育の実現』『主体的に生きる力を育む保育の実現』『仲良しの心・思いやりの心を育てる』を掲げています。また教育目標として、本園でめざす幼児像は次の4項目になります。

- 1、丈夫な子ども
- 2、素直な子ども
- 3、進んで取り組む子ども
- 4、心豊かな子ども

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した自己評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教職員が自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評 価 項 目	取 組 状 況
保育課程の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。	外部説明会や研修会に代表者が参加し、最新の情報などを知り、自園における保育課程の編成に参考になるよう努めている。
教育要領、教育課程、保育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	保育課程、指導計画に加筆や訂正を行い、0・1・2歳の子どもの発達に合わせ実態に即した保育計画を作成している。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教職員は日々の子どもの様子を記録し、それを参考にしながら、発達や実態を把握し、週案及び日案の作成している。 必要な子どもに対しては、個別の計画を作成してゆく。
月毎に各年限の成果と課題を報告する。	各年限で月や週の目標を定め、月毎に保育の状況の振り返りを行い、次の保育に反映させていくよう努めている。 特に季節行事等は環境配慮、詳細な計画や実践と見直しを行う。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どもの個性やよさを認め、教職員の総合的なチームワークの中で、観察し、客観的、多角的に子どもを見る目を養うように努めている。
あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	子どもの発達や姿に合わせて計画し、自分で工夫したり、そこから発展し友だちと協力して遊べる内容や環境を創意工夫している。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。	登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促し、家庭との連携を図りながら、食事、睡眠、排泄を丁寧に対応している。子どもへの発達に合わせた保育に努めた。 食事の介助の安全を見直し、誤飲・窒息防止の意識を高めたり、食の楽しさを家庭内でも意識出来るように伝えている。

教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	学園全体研修を年度の初めに行い、教育・保育の質については勿論安全について、園内研修を実施し質の向上に努めている。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、教職員間において提供し、共有化を図るようにしている。また、キャリアアップ研修に参加し、子供の発達や保育への知識を深めている。
園だよりや合同研修会をととして園の情報を発信していく。	園の教育・保育方針や取組を園だよりに記載し、積極的情報発信に取り組んでいる。又、ホームページ等も有効に活用する。
教育・保育目標や短期経営目標と連鎖した評価項目を作成し、目標・実行・評価・改善のサイクルを確立する。	PDCA サイクルを常に念頭におき、さらに充実した保育・教育になるように努めている。改善を速やかに実施し、職員意識の変化を促し、園内保育の更なる活気や前向きなモチベーションに努める。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

理	由
全教職員が自己評価の主旨を十分に理解し、適切に点検、評価、啓発に取り組んでいる様子があった。引き続き、園内の業務の時間的な効率化と保育・教育の客観的な視点を持ち、日々振り返りを実施し、充実した保育実践が出来るよう努力を積み重ねたい。職員の評価結果からも専門知識やスキル向上が課題として上がった。乳幼児期の心身の発達を一層や話し合い、仕事の共有や周知を徹底しながら、チームワークをもった保育する事を目指したい。 全職員がリーダーシップを発揮し園の軸を担いながら、園運営や子ども達に必要な配慮を考えて計画し実施、また、仕事の伝達と理解を行い、子どもの育ちに合わせた保育と安全の為に日々の確認や予測を行い、保育の知識活用を強めたい。 I C Tを使った保育の充実により、職員も保護者も子どもの姿を共有しやすく、スムーズで効率的な業務や伝達を可能にし、少しでもゆとりのある保育や子育ての実現が出来ればと望み実施している。	

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	令和7年度6月より、様々なシステムの一本化を図る為、コドモンを導入。 （緊急時等の園情報を提供、保護者からの欠席連絡機能、連絡帳機能、指導案作成等） 令和4年度よりホームページを一新し、園だより等のダウンロードを導入。 個人情報の観点に配慮し、保護者へのスムーズな情報共有が定着した。 保護者が知りたい情報を発信する為、写真・動画配信サービスも活用している。 今後もシステムを工夫し、保護者にとって分かり易く、便利で寄り添った情報共有の実施を検討したい。
自己点検、自己評価	最低限こうしてほしいといった基本の項目を点検課題として挙げているので、各教職員においてはさらに課題を上げるようにして自己研鑽に取り組むようにしている。 職員個々の課題も園の課題と捉え共有してゆく。
指導計画の編成	指導計画を作成する際に、園を取り巻く環境や子供の実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。